

Ⅱ 県内中小企業の経営動向

県内中小企業の経営状況

緩やかに回復している。

先行きについては、緩やかな回復が続くと見込まれる。

- 経営者の景況感DIは、前期比で0.6ポイント下降し、7期ぶりに悪化した。業種別では、製造業は7期連続で改善し、非製造業は3期ぶりに悪化した。先行きについては、「良い方向に向かう」が前期から増加し、「どちらともいえない」、「悪い方向に向かう」がともに減少した。
- 売上げDI・採算DIは4期ぶりに悪化し、資金繰りDIも2期ぶりに悪化した。
- 設備投資の実施率は3期ぶりに減少した。
- 来期については、売上げDI・資金繰りDI・採算DIは、改善する見込みである。また、設備投資実施率については下降する見通しとなっている。

注1) 本文中の各DI値については、例えば「増加した」企業割合と「減少した」企業割合を四捨五入して表記しているため、±0.1の範囲で差異が生じることがある。

注2) 「前期」：平成29年10～12月期、「当期」：平成30年1～3月期、「来期」：平成30年4～6月期

1 経営者の景況感と今後の景気見通し

景況感DIは▲29.6となり、7期ぶりに悪化した。前期比で0.6ポイント下降したが、前年同期比では10.6ポイント上昇した。

業種別にみると、製造業は7期連続で改善し、非製造業は3期ぶりに悪化した。

先行きについては、「良い方向に向かう」が前期から増加し、「どちらともいえない」、「悪い方向に向かう」がともに減少した。

＜景況感DIの推移＞

	当 期	前 期	前年同期
全 体	▲29.6	▲29.0	▲40.2
製 造 業	▲24.4	▲26.2	▲41.1
非製造業	▲33.8	▲31.2	▲39.5

＜「良い方向に向かう」と回答した割合＞

	当 期	前 期
全 体	12.1%	9.4%
製 造 業	14.8%	11.2%
非製造業	9.9%	7.9%

＜「悪い方向に向かう」と回答した割合＞

	当 期	前 期
全 体	20.8%	21.1%
製 造 業	17.6%	19.9%
非製造業	23.4%	21.9%

2 売上げについて

売上げDIは▲21.9となり、4期ぶりに悪化した。来期は改善する見通し。

業種別にみると、製造業は4期ぶりに悪化し、非製造業も2期ぶりに悪化した。

来期については、製造業、非製造業ともに当期の売上げDIを上回る見通しである。

＜売上げDIの推移＞

	当 期	前 期	前年同期	来期見通し
全 体	▲21.9	▲3.1	▲23.5	▲5.3
製 造 業	▲19.7	4.0	▲22.8	1.5
非製造業	▲23.7	▲8.7	▲24.1	▲10.9

3 資金繰りについて

資金繰りDIは▲18.8となり、2期ぶりに悪化した。来期は改善する見通し。

業種別にみると、製造業、非製造業ともに2期ぶりに悪化した。

来期については、製造業、非製造業ともに当期の資金繰りDIを上回る見通しである。

＜資金繰りDIの推移＞

	当 期	前 期	前年同期	来期見通し
全 体	▲18.8	▲10.1	▲19.5	▲10.7
製 造 業	▲17.8	▲8.1	▲21.2	▲7.3
非製造業	▲19.6	▲11.7	▲18.2	▲13.3

4 採算について

採算DⅠは▲27.1となり、4期ぶりに悪化した。来期は改善する見通し。
業種別にみると、製造業、非製造業ともに4期ぶりに悪化した。
来期については、製造業、非製造業ともに当期の採算DⅠを上回る見通しである。

<採算DⅠの推移>

	当 期	前 期	前年同期	来期見通し
全 体	▲27.1	▲14.9	▲26.6	▲14.7
製 造 業	▲27.2	▲10.5	▲25.9	▲7.1
非製造業	▲27.0	▲18.4	▲27.1	▲20.9

5 設備投資について

実施率は21.1%となり、3期ぶりに悪化した。来期も減少する見通し。
業種別にみると、製造業は2期連続で減少し、非製造業も2期ぶりに減少した。
来期については、製造業、非製造業ともに減少する見通しである。

<設備投資の実施率>

	当 期	前 期	前年同期	来期見通し
全 体	21.1%	23.1%	22.1%	19.7%
製 造 業	25.4%	26.7%	25.0%	24.9%
非製造業	17.6%	20.3%	20.0%	15.5%

6 ヒアリング調査の概況（詳しくはP21以降をご覧ください）

企業の声

【現在の景況感】

- 「決算期に向けて、医療機器メーカーからの受注が好調である」（プラスチック製品）
- 「受注が好況である」（一般機械器具）
- 「お金の使い方がモノからコトになり、日常は節約する傾向。お金が回っていない感じがする」（スーパー）
- 「業界に仕事はあるので好況。しかし、人手不足のため十分に力が発揮できていない」（情報サービス業）

【売上・採算】

- 「原材料費、配送料が上がり支払いが増えている」（印刷業）
- 「売上高が減少し、一時的に悪化した」（輸送用機械器具）
- 「経費も削減しているが売上げも落ちている」（百貨店）
- 「経費を削減し、売上減をカバーしている状況」（情報サービス業）

【今後の見通し】

- 「当面受注増が確実であり、良い方向に向かっている」（食料品製造）
- 「今期に比べると良くなる」（電気機械器具）
- 「今後については、当面好調のまま推移する」（建設業）
- 「伸び悩んでいる感じがおり、若干デフレ傾向もみられるものの、それほど悪いという感じはしない」（スーパー）